

この人の話が聞きたい!
21

2024 / 1 / 19 (金)

18:00~

@Open MUJI 学び舎
(無印良品 東武動物公園駅前)

田中 菜穂子 -たなか なおこ-

フローリスト



幼い頃から植物が好きで22歳の時にフローリストの世界へ進む。お客様の想いを形にするアレンジメント、結婚式やパーティー会場の空間装飾を演出する中で、花の魅力を引き立てる技術を磨き、表現する面白さを知る。そんな中、ドイツの植物造形理論に出会い、自然が生み出す美しいパターン・植物の造形から自らの感性で受け取りデザインを起こすという考え方を知り、技術だけでは成立しない『感性』を磨く大切さを学ぶ。2023年3月からは地元産の植物を活かしたワークショップやその土地でしか見ることのできない文化・長い年月をかけて培われた自然の美しさを感じて受け取り楽しむフィールドワークを開催中。『植物と音楽が溢れる文化的な町になってほしい』という思いで、これから『食』『音楽』『植物』のコラボを企画していく予定。

結婚・出産、パート労働を経て、自らのライフスタイルに合わせた働き方を模索。家族の形にあった仕事を追求し、子供たちが夢を追い求められる環境づくりにもこだわる。そこで巡り会ったのがネイリストへの道。ネイリスト専門校に入学し、気づけばのめり込み皆勤賞。2年でJNECネイリスト検定一級/JNAジェルネイル技能検定上級、全9種ネイリストとしての全ての資格取得。ネイリストとしてのスキルを身につけ、子育てとの両立を実現。サロン勤め0日で独立開業を果たし今年で6年。1から自分が納得したやり方を見だしながら、当初思い描いた大きな夢に向かって日々前進。昨年8月にはご主人も17年間の料理人経験を経て、東武動物公園西口駅前に【ダイニングパークエスト】をオープンし、家族の形にあった新たな仕事に踏み出すことを決意。皆がそれぞれの夢へ向かえる環境づくりに突き進む。

中山 友里恵 -なかやま ゆりえ-

ネイリスト/子育てを彩る



「この人の話が聞きたい」ってなあに？

「この人の話が聞きたい」(通称・このハナ)は、町内外で活躍しているゲストのお話をきっかけに参加者同士が交流し、新たなアイデアやつながりが生まれ、新しい何かを始める出会いの場を目指しています。少しでもご興味のある方は、お気軽にご参加ください。

参加のお申込みは↓

Face book



LINE



事前予約制。

※定員に達し次第、募集終了。
定員に達していない場合は、当日参加も可能。



Onlineエンタメ公民館miyashiroさん協力のもと
Web配信 (Facebook、zoom) 実施!
会場で参加できない方も、オンラインでつながろう!

宮代町企画財政課
0480-34-1111 (内線214・217)
kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp

この人の話
ハナッが
ももっせい!

22

2024 / 3 / 22 (金)

18:00~

@Open MUJI 学び舎
(無印良品 東武動物公園駅前)

竹前 亮佑 -たけまえ りょうすけ-

合同会社みんなの庭 代表社員

1985年長野生まれ埼玉育ち杉戸町在住。
脱サラして八百屋を約8年間やってきました。
その中で農に触れる機会が多くあり、生産者と消費者の壁を感じる事が多々ありました。
今は、農家住宅に住みながら『みんなの庭』を運営しています。
「農を中心にみんなで創る生活の場」をテーマに日々活動しています。
今年「田んぼの会」を立ち上げ、生産者と消費者の垣根を無くして、農家さんを支えながらみんなで田んぼを残していくための活動を始めました。



生産者と消費者の
垣根をなくしたい



おもしろいことを
たくさんしたい!

小椋 圭人 -おぐら けいと-

大学生

2000年生まれ。宮代町歴23年!百間小、前原中卒!
無印良品(東武動物公園駅前)のつながる市に出店してみたり、杉戸の「ひとつ屋根の下」に遊びに行ったり、東京都墨田区や草加市谷塚、他の地域でいろんな人や”こと”に出会っていたら、まちで遊ぶことが好きになっていました。
最近宮代で池袋発祥のゴミ拾いとコーヒーを通じて地域に友達を作る活動、「Cleanup & Coffee Club」略して”CCC”の運営をしたり、墨田区でまちづくり、場づくりをしている人の元で勉強させてもらっています。
まちでおもしろいことをやっていきたいです!

「この人の話が聞きたい」ってなあに?

「この人の話が聞きたい」(通称・このハナ)は、町内外で活躍しているゲストのお話をきっかけに参加者同士が交流し、新たなアイデアやつながりが生まれ、新しい何かを始める出会いの場を目指しています。
少しでもご興味のある方は、お気軽にご参加ください。

参加のお申込みは↓

Face book

LINE



事前予約制。

※定員に達し次第、募集終了。
定員に達していない場合は、当日参加も可能。



Onlineエンタメ公民館miyashiroさん協力のもと
Web配信(Facebook)実施!
会場で参加できない方も、オンラインでつながろう!

宮代町企画財政課
0480-34-1111 (内線214・217)
kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp

この人の話が聞きたい!
23

2024 / 5 / 24 (金)

18:00~

@Open MUJI 学び舎
(無印良品 東武動物公園駅前)

生駒 あさみ -いこま あさみ-

Cultivate Coffee 店主

かつて看護師として働いていた私は、いのちと向き合う感情の起伏をコントロールするために、コーヒーから「癒し」と「活力」を得ていました。コーヒーを通じて、誰かをポジティブな気持ちにできたらステキだなと、夢見心地で想いを膨らませているとき、一杯のコーヒーに出会いました。たくさんの人へ届けたい。

キッチンカーの建屋をDIYで作り、ワクワクした気持ちでドリップすることができる環境を整えました。

それからハンドドリップコーヒー専門店としてキッチンカーを始めて3年目。ふらっと立ち寄っては、コーヒー片手に談笑してもらえることが幸せ。皆さんに喜んでもらうことだけを追いかけて、人とのつながりを大切にしています。

それは美味しいコーヒーを提供するだけじゃない、エンターテインメント。これからも楽しい挑戦、どんどんします。



人と人が
つながる場にしたい



「顔なじみが
できる場所」
をつくりたい

斎藤 夏未 -さいとう なつみ-

杉戸おさんば立ち寄りカフェchocont / ベビーマッサージ講師

1995年東京都下町生まれ

高校を卒業し、会社員として8年半勤務する中で結婚・妊娠・出産を経て宮代町に3年前に引っ越してきました。

知り合いも頼れる人すらいないこの町での生活。

コロナ禍ということもあり、人との距離が遠く、どこに行ったらいいかわからない。何をしたいかわからない。

そんな孤独育児の経験から、安定の会社員を辞めて、地域で「顔なじみができる場所」を作っています。

気軽に立ち寄れてその場にいる人と挨拶をきっかけに気がいたら「顔なじみ」になっている、子連れにも優しいカフェを目指しています。

「この人の話が聞きたい」ってなあに？

「この人の話が聞きたい」(通称・このハナ)は、町内外で活躍しているゲストのお話をきっかけに参加者同士が交流し、新たなアイデアやつながりが生まれ、新しい何かを始める出会いの場を目指しています。少しでもご興味のある方は、お気軽にご参加ください。

参加のお申込みは↓

Face book



LINE



事前予約制。
※定員に達し次第、募集終了。
定員に達してない場合は、当日参加も可能。



Onlineエンタメ公民館miyashiroさん協力のもと
Web配信 (Facebook) 実施!
会場で参加できない方も、オンラインでつながろう!

宮代町企画財政課
0480-34-1111 (内線214・217)
kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp

この人の話が聞きたい!
24

2024 / 8 / 2 (金)

18:00~

@Open MUJI 学び舎
(無印良品 東武動物公園駅前)



横川 周 -よこかわめぐる-

古雑貨ブランドHari創設者

2000年生まれ。4歳から宮代町民。笠原小、百間中卒業。
母親が3ピズに参加したことをきっかけに地方創生に興味を持ちはじめ、大学では地方創生を学びました。
大学で取り組んだ空き家問題と工房Re:Re:で見かけた桐たんすから発想を得て、今年の4月からHariのプロジェクトを始めました。

「Hari」は建物の柱と柱を繋ぐ「梁」が由来です。
解体を待つばかりの古民家と、現代の人々を繋いで、価値ある品々に新しい活躍の場を与えていきたいです。

金子 雄一 -かねこゆういち-

宮代町在住

1979年生まれ 春日部育ち 宮代歴13年。
本業はシステムエンジニアの会社員。
東小おやじの会の友人からの誘いで、宮代2.0の活動に参加。それを皮切りに、様々な地域活動に参加しています。
また、並行して自治会長も務めています。(今年で6年目)
様々な活動を通じ、つながり自体が楽しい、ローカルが盛り上がっていると自分自身が楽しい、との思いから、さらに地域活動へ参加。
みやしろ町民まつりの実行委員への参画や、ひとつ屋根の下の棚オーナー、本業を生かしたプロボノ活動の開始など、地域を盛り上げるべく日々活動をしています。



「この人の話が聞きたい」ってなあに？

「この人の話が聞きたい」(通称・このハナ)は、町内外で活躍しているゲストのお話をきっかけに参加者同士が交流し、新たなアイデアやつながりが生まれ、新しい何かを始める出会いの場を目指しています。少しでもご興味のある方は、お気軽にご参加ください。

市民の方のご協力のもとWeb配信(Facebook)実施中!
会場で参加できない方も、オンラインでつながろう!

参加のお申込みは→

事前予約制。
※定員に達し次第、募集終了。
定員に達していない場合は、当日参加も可能。

Face book



LINE



宮代町企画財政課
0480-34-1111 (内線214・217)
kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp



2024 / 11 / 8 (金)

18:00~

@Open MUJI 学び舎
(無印良品 東武動物公園駅前)



中村 郁実 -なかむらいくみ-

シンガーソングライター



1996年生まれ、宮代町のお隣、白岡市出身のシンガーソングライター。2015年に音楽活動を開始後、わずか1年足らずでSony Music Artist (以下SMA)主催のオーディションを勝ち抜き、SMA所属となる。2018年4月にはドラマ「居酒屋ぼったくり」の主題歌・EDテーマに異例の抜擢、プロデューサーに福岡晃子/accobin (チャットモンチー済)を迎え、ドラマの初回放送日に合わせて配信シングル「実」をリリース。2020年9月にSMAを退所、ギターに加え、鍵盤での弾き語りを開始し、音楽性に大きな変化が訪れる。現在、平日は会社員として働きつつ、音楽活動を行っている。2024年10月13日には自身初のワンマンライブ「IPPASHI」を下北沢DY CUBEにて開催。

峰村 峻介 -みねむら しゅんすけ-

美術アーティスト



1988年東京都生まれ。幸手市育ち、宮代町在住(2020年~)。宮代町では、noumachiで3回展示。2024年に翔葉会に入り日本舞踊を始める。2016年越後妻有トリエンナーレに学生時代有志として参加。2019年3月「向島妖怪仮面」墨田区向島の地域のネタを仮面にするアートワーク。その他、個展多数。

【アートが身近ではないのはなぜか？芸術は西欧(欧米)優位？「芸術は爆発だ!」の時代は終わった？文化のイメージは、なぜ敷居が高い？美術館の作品は静かに観るもの？文化財は、守るもの？使うもの？地域文化は意識的に築きあげるものか？等】みやしろ芸術祭2024では以上のような、私の疑問(多分みんなも)を克服するために、埼玉の治水事業の偉人「伊奈氏一族」を引っ張りだし、「水(利根川)」をテーマにしたインスタレーション作品を進修館の四季の丘に、11月16・17日に設置する。



「この人の話が聞きたい」ってなあに？

「この人の話が聞きたい」(通称・このハナ)は、町内外で活躍しているゲストのお話をきっかけに参加者同士が交流し、新たなアイデアやつながりを生み出す場、新しい何かを始める出会いの場を目指しています。少しでもご興味のある方は、お気軽にご参加ください。

市民の方のご協力のもとWeb配信(Facebook)実施中! 会場で参加できない方も、オンラインでつながろう!

参加のお申込みは→

事前予約制。
※定員に達し次第、募集終了。
定員に達していない場合は、当日参加も可能。

Face book



LINE



宮代町企画財政課
0480-34-1111 (内線214・217)
kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp

この人の
ハナッが
ももったい!

26

2025 / 2 / 7 (金)

18:00~

@Open MUJI 学び舎
(無印良品 東武動物公園駅前)



子育てで
親子の未来が変わる

中村 奈々恵 -なかむら ななえ-

子育てが楽しくなるママカフェ認定講師 (自立と絆クリエイター)



ふじみ野市在住。夫と中学生の子ども2人の4人家族。
子育てに悩んでいた2013年、近所で開催されていた子育て講座【子育てが楽しくなるママカフェ】に初参加。内容に衝撃を受け、継続して学ぶようになる。学びながら子育てをする中で、イライラして怒鳴ることがなくなり、子どもの痾癢が落ち着き、つらいと思っていた子育てを楽しめるようになった。2017年からは「子育てで悩む人の支えになりたい」という想いで、自身の学びも続けながら講師としての活動も開始。東京、埼玉、千葉、茨城などで親向けの子育て講座や家庭教育学級でも依頼を受けて講演をしている。どの地域にも子育てで悩む親はたくさんいると考え、「必要としている人に届けたい」という強い想いから「埼玉県内でまだママカフェが知られていない地域に届けにいこう!」と決意。2022年秋から宮代町の道案内カフェ~noumachi~にてレンタルスペースをお借りし、子育て講座【子育てが楽しくなるママカフェ】をスタート。現在も毎月開催している。これまでに開催したテーマは「時間と心にゆとりが増える子育ての秘訣」「自分のことは自分でできる子へ~親ができる関わり方~」など。

長谷川 知広 -はせがわ ともひろ-

宮代町在住。ナナメのあそび場主宰
NPO法人ダイバーシティサッカー協会理事
リタリコワークス春日部



ナナメの関係性づくり

慶應大学総合政策学部卒業。学生時代にソーシャルベンチャーについて学び、卒業後10年ほどNPO法人ビッグイシューで勤務。若者ホームレス白書IIや路上脱出ガイドの製作、若者ホームレス支援ネットワーク会議の統括を行う。また、ダイバーシティサッカー協会を設立し、社会的マイノリティのスポーツによる居場所づくりを行う。2020年からはオリンピック・パラリンピックの文化事業であるアートプロジェクト「TURN」に従事。コロナ禍に谷中と宮代町の2地域居住をしていたが、笠原小に魅力を感じ宮代町へ移住。自身の目が障がいになったことを契機に、障がいのある人の「働く」を応援しようとリタリコワークス春日部で勤務をはじめ。2024年9月にダイバーシティリーグさいたま大会を新しい村で開き、2025年も開催予定。これからチャレンジしたいことは、ギフテッドの親や子供の学びの場をつくること、障がいのある人の実習や就労の機会を作ること。

「この人の話が聞きたい」ってなあに？

「この人の話が聞きたい」(通称・このハナ)は、町内外で活躍しているゲストのお話をきっかけに参加者同士が交流し、新たなアイデアやつながりを生み出す場、新しい何かを始める出会いの場を目指しています。少しでもご興味のある方は、お気軽にご参加ください。

市民の方のご協力のもとWeb配信(Facebook)実施中! 会場で参加できない方も、オンラインでつながろう!

参加のお申込みは→

事前予約制。
※定員に達し次第、募集終了。
定員に達しない場合は、当日参加も可能。

Face book



LINE



宮代町企画財政課
0480-34-1111 (内線214・217)
kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp



2025 / 5 / 9 (金)

18:00～

@Open MUJI 学び舎
(無印良品 東武動物公園駅前)



荒木 正一 - あらき しょういち -

宮代町の「緑の会」所属。30年近くハーモニカの演奏に携わる。

1995年から宮代ハーモニカクラブに所属。蓮田市在住の日本ハーモニカ芸術協会師範である故中村氏の指導の元で2005年4月に準師範の資格を取得。中村氏の引退後、2007年5月から後任の講師として会を指導している。

2011年12月に定年退職後、本格的にハーモニカ演奏活動を開始。

主な活動としては埼玉芸術劇場で開催している埼玉県ハーモニカ協会主催の発表会への参加の他、指導している4つの教室と1グループ、合わせて5グループでの合同演奏会を毎年行い、練習の成果を披露しながら親睦を図り仲間の絆を深めている。

その他、みやしろおひな祭り、町民まつり、郷土資料館の古民家での演奏会や介護施設のボランティア演奏会等の活動を実施。ここ数年はメンバーの高齢化に伴い会員の減少等活動の縮小化が課題となっている。

楽しい老後の時間の過ごし方、
やりたいことはすぐやろう！

蛭間 芳樹 - ひるま よしき -

宮代町在住・笠原小学校PTA会長・新しい村結の里元会長

笠原小・百間中を卒業後、東京大学大学院工学系研究科修了、スタンフォード大学大学院修了。

(株)日本政策投資銀行 (DBJ、財務省系列)、(株)SkyDrive取締役 (空飛ぶクルマ開発スタートアップ)、(株)SynecO取締役 (拡張生態系開発スタートアップ)などに従事している。

DBJ業務のほか、内閣官房・内閣府・経産省・国交省・文科省等の政府委員、世界経済フォーラム (ダボス会議)・国連・世銀・G20等の国際機関の日本代表専門員等を歴任。3児の父、2024年より笠原小PTA会長。

また、ホームレスワールドカップ日本代表チーム「野武士ジャパン」の元コーチ・監督、「ダイバーシティサッカー協会」共同創設者・現理事、ビッグイシュー基金理事なども務めている。



大阪万博と空飛ぶクルマ

「この人の話が聞きたい」ってなあに？

「この人の話が聞きたい」(通称・このハナ)は、町内外で活躍しているゲストのお話をきっかけに参加者同士が交流し、新たなアイデアやつながりを生み出す場、新しい何かを始める出会いの場を目指しています。少しでもご興味のある方は、お気軽にご参加ください。

市民の方のご協力のもとWeb配信 (Facebook) 実施中！ 会場で参加できない方も、オンラインでつながろう！

参加のお申込みは ⇒

事前予約制。
※定員に達し次第、募集終了。
定員に達していない場合は、当日参加も可能。

LINE



Face book



宮代町企画財政課

0480-34-1111 (内線214・222)

kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp



2025 / 8 / 29 (金)

18:00～

@コミュニティセンター
進修館2F ロビー



「わたしのモヤモヤが、
社会をちょっと動かす」

長谷川 おぎん 綾子 - はせがわ おぎん あやこ -

宮代町在住・ナナメのあそび場主宰・東京藝術大学アートキャリアサ
ロン講師・アデコ株式会社ソーシャルイノベーション課勤務

福島の大自然で生まれ育つ。短大から宇都宮大学国際学部に編入し、インドのコース
ト制度の本に衝撃を受けインドに3回訪問。

インドの貧困問題に取り組むべく、フェアトレードを通して貧困層の女性を支援する
NGOを学生時代に設立。それをきっかけに場づくりやチームビルディングに興味を持つ
ようになり、社会的企業にて場づくり講座の企画運営、社会活動立ち上げ支援に従事。
その後、NPOで組織開発や人材開発、コミュニティカフェ企画運営に携わる。
現在は外資系企業へ転職し、公共事業（子供政策）の企画提案・運営、社会課題解決
型の新規事業開発に携わる。

旅をすることが大好きで、最近の目標は「遊ぶように働きながら、社会活動の担い手
を増やすこと」。

パーソンセンタードアプローチ・表現アートセラピーファシリテーター。

雲野 亜璃沙 - うんのありす -

ありスタグラム・まちのSNS屋さん



埼玉県川口市出身。2023年より春日部市在住。

武里の「暮らし図書室」を知ったことを機にまちづくりに興味を持つ。

月3万円ビジネスin宮代杉戸の修了をきっかけに、SNSサポート事業「ありス
タグラム」を立ち上げる。

現在は、宮代・杉戸を中心にまちで活動する人のSNS利用のサポートやイン
スタグラムの講座、まちのPR動画の作成などを行っている。

事業立ち上げの背景には、本人がSNS依存性を辞められなかったというこ
とがあるため、合言葉は「SNSは呼吸！」



「この町が
ありすのワンダーランド」

「この人の話が聞きたい」ってなあに？

「この人の話が聞きたい」（通称・このハナ）は、町内外で活躍しているゲストのお話をきっかけに参加者同士が
交流し、新たなアイデアやつながりを生み出す場、新しい何かを始める出会いの場を目指しています。少しでもご
興味のある方は、お気軽にご参加ください。

市民の方のご協力のもとWeb配信（Facebook）実施中！ 会場で参加できない方も、オンラインでつながろう！

参加のお申込みは ⇒

事前予約制。
※定員に達し次第、募集終了。
定員に達してない場合は、当日
参加も可能。

LINE



Face book



宮代町企画財政課

0480-34-1111（内線214・222）

kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp



2025 / 11/21 (金)

18:00～

@コミュニティセンター
進修館2F ロビー



映画のワンシーンを切り取るように写真を撮る

穴澤 真奈美 -あなざわ まなみ-

フォトグラファー
(卒業アルバム制作・ロケーション撮影)



杉戸町在住。専門学校卒業後、英会話スクールに勤務。23歳の時に実家の卒業アルバム制作業を継ぎ、学校カメラマン歴14年目。活動の場を広げるべく、2年前の春よりSOMEWHERE.を立ち上げ、イベント出店や七五三、成人式や結婚式の前撮りのロケーション撮影、イベント出店をしてわんちゃんの撮影会なども行っている。

人生の節目やかけがえのない日常を、映画のワンシーンを切り取るように写真を撮ることが永遠のテーマ。

趣味はSOMEWHERE.の看板犬エマ(フレンチブルドッグの女の子)と一緒に、車中泊旅をすること。

日本工業大学 木下研究室

- にっぽんこうぎょうだいがく きのしたけんきゅうしつ -

進修館の家具メンテナンスに向けた調査

私たちは、建築の中での人の流れや過ごし方に注目して研究や活動をしています。進修館の2階ロビーで利用調査を行ったことをきっかけに、この建物に置かれている家具の面白さに気づきました。

種類が思った以上に豊富で、建物と同じデザインの要素が家具にも使われているなど、魅力がたくさんあります。その一方で、40年以上使われてきた家具には傷みも見られ、メンテナンスが必要そうなものもありました。

そこで、多くの方がこれからも進修館らしい過ごし方ができるように、「進修館の修活」という活動を始めました。

今回は、これまでの家具についての調査結果などをご紹介しながら、進修館の家具の魅力を皆さんと一緒に再確認し、今後のメンテナンスについて気軽にお話しできればと思います。



「この人の話が聞きたい」ってなあに？

「この人の話が聞きたい」(通称・このハナ)は、町内外で活躍しているゲストのお話をきっかけに参加者同士が交流し、新たなアイデアやつながりを生み出す場、新しい何かを始める出会いの場を目指しています。少しでもご興味のある方は、お気軽にご参加ください。

市民の方のご協力のもとWeb配信(Facebook)実施中! 会場で参加できない方も、オンラインでつながろう!

参加のお申込みは ⇒

LINE

Face book

事前予約制。
※定員に達し次第、募集終了。
定員に達してない場合は、当日参加も可能。



宮代町企画財政課

0480-34-1111 (内線214・222)

kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp



2026 / 2 / 6 (金)

18:00~

@コミュニティセンター
進修館2F ロビー



障がいと共に
生きるということ

石川 達也 -いしかわ たつや-

大学生



宮代町出身。850gの未熟児として生まれ、生まれつき脳性まひという身体障がいがあります。笠原小学校、宮代特別支援学校中学部を経て、高校・大学と多くの人に支えられながら歩んできました。

高校3年生のときには東京パラリンピックの聖火ランナーを務め、大学では約1年間ドイツに留学するなど、これまでの人生を通して障がいの向き合い方や自分の生き方について考えてきました。

現在22歳、4月から社会人になります。社会に出る節目に、障がいとどう向き合ってきたのか、そのなかで考えてきたことや感じてきたこと、経験を皆さんと共有したいと思っています。



塚田 夏希 -つかだ なつき-

ほっとけない珈琲屋 ハコCoffeeStand



元警察官であり、コーヒーが大好きな二児の母です。暮らしの中で感じてきた「コーヒーを通して安心して楽しく暮らせる町づくりに貢献したい」という思いを軸に、店舗を持たない出張スタイル「ハコCoffeeStand」で活動しています。耳に入ってきた誰かの小さなひとことに「それ、ほっとけないな」と動き出してしまう性分で、大切にしているのは、そこから生まれる"つながり"や"やってみよう"が小さく動き出す瞬間です。

コーヒーを楽しみに訪れた方々が、ふっと気持ちを置ける時間を育てつつ、日々の暮らしの中に安心や楽しさが広がるような場づくりや元警察官という経歴を活かしたイベントの企画運営にも取り組んでいます。

一人ひとりの小さな声や行動が、未来の子どもや街の景色を少しずつ良い方向へ動かす—そう信じて活動を続けています。



皆さんの声を
聞かせてください!

「この人の話が聞きたい」ってなあに？

「この人の話が聞きたい」（通称・このハナ）は、町内外で活躍しているゲストのお話をきっかけに参加者同士が交流し、新たなアイデアやつながりを生み出す場、新しい何かを始める出会いの場を目指しています。少しでもご興味のある方は、お気軽にご参加ください。

市民の方のご協力のもとWeb配信（Facebook）実施中！ 会場で参加できない方も、オンラインでつながろう！

参加のお申込みは ⇒

事前予約制。
※定員に達し次第、募集終了。
定員に達していない場合は、当日参加も可能。

LINE



Face book



宮代町企画財政課

0480-34-1111（内線214・222）

kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp